

# 介護者の手を煩わせない 尿失禁・夜尿症治療器の開発研究

講師・内藤泰行からのメッセージ

低侵襲で介護者の負担がゼロの尿失禁・夜尿症治療器の開発を目指します。



## キーワード

尿失禁、夜尿症、低周波治療

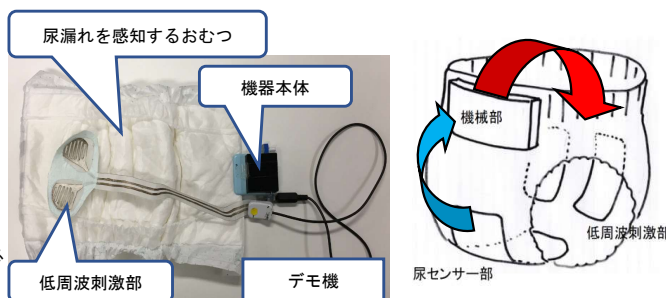
## 研究の概要

我々の提案する尿失禁・夜尿症治療器は、無意識に失禁してしまう遺尿（昼間、夜間問わず）に対し、尿漏れをおむつに組み込まれたセンサーが感知すると同時に、低周波治療システムに連動して治療が実施される治療機器です。この機器により、本人のみならず介護者の負担が皆無の治療を目指しています。

## 研究内容

### 1・機器のメカニズムは特許申請済み

患者様はおむつ型の治療器を装着するだけで、尿の感知から膀胱神経への刺激まですべて自動で行われ、世話をする人の助けを一切必要としない優位性を有し特許申請を完了しています。



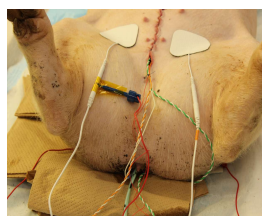
国内特許：(特願2018-567530)  
国際特許：PCT/JP2018/004732

### 2・皮膚や膀胱に対する安全性の検証

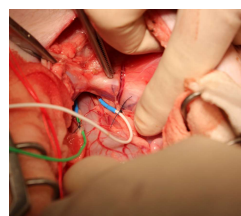
おむつの中で尿で濡れた状態でも皮膚に対して安全で、膀胱に尿がたまった状態でも膀胱に対しても安全に低周波刺激が行えることを確認しました。

### 3・膀胱容量の拡大・安定性の検証

臨床治験に向け、仕様設定されたプロトタイプ機器の完成を目指して研究中で、研究中に得られた新たな知財に対して申請中です。



計測機器の設置



膀胱壁への計測器の設置



尿で濡らした刺激パッド

## 今後の展望

- ・国際特許取得に向け、前進中。・製造・販売企業を探索中。
- ・社会実装に向けて、尿失禁・夜尿症患者様を対象に治験の施行。